平成３０年度　沖縄県立総合教育センター後期長期研修　検証授業

音楽Ⅰ　学習指導案

日　時：平成３０年１２月　３日(月) ３・４校時

　　　　１２月１０日(月) ３・４校時

　　　　１２月１７日(月) ３・４校時

場　所：県立真和志高等学校音楽室

対　象：１年音楽Ⅰ選択者（２４名）

授業者：久高　えりこ

１　題材名　歌声を教室いっぱい響かせよう

２　題材の目標

(1)協力して創り上げる喜びや楽しさを味わいながら、主体的に歌唱活動に取り組むことができる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【A表現（１）ア】

(2)歌詞の内容や曲想に相応しい歌い方を考え、お互いの意見を共有し、それぞれの持つ音域を意識しな

がら、表現を工夫して歌うことができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　【A表現（１）ウ】

３　題材について

　(1) 題材観

本題材は、学習指導要領A表現（１）歌唱ア「曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り，イメージをもって歌うこと」歌唱イ「曲種に応じた発声の特徴を生かし，表現を工夫して歌うこと」歌唱ウ「様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし，表現を工夫して歌うこと」に関する学習内容である。学習活動では、学習指導要領の音楽Ⅰの目標にある「芸術の幅広い活動」と「生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる」を意識しながら、自分の声の特性を知り、それに合わせてキーを調整し、歌いやすくすることで歌唱活動に楽しんで取り組んでいけるようにする。

本題材で扱う教材は、３つの視点（①心に響く歌詞であること　②メロディの美しさや楽しさを感じられる曲であること　③歌いやすい曲であること）をもとに、生徒が選んでいく。この楽曲選択の過程も大事な歌唱活動の一つだと考えており、自ら選曲に関わることで歌唱活動を自分ごととして捉えさせ歌う意欲を引き出したい。その上で、歌詞の内容や曲に込められたメッセージについて意見を共有し、表現の工夫につなげていく。本題材の随所に対話的活動を取り入れ、協力して創り上げる喜びや楽しさを味わわせることで、題材名である「歌声を教室いっぱい響かせよう」に迫ることが出来ると考える。

(2) 生徒観

歌うことが好きだと答える生徒がほとんどで、普段の生活の中でも音楽を楽しんでいる様子が見受けられるが、授業においては大多数が消極的で、まったく声を出さない生徒もいる。生徒のアンケートから見えてきたことは、声を出すことが恥ずかしい、自分の声の高さと合わない、歌いにくい、周りの雰囲気に合わせた等の声があり、生徒の歌いたいという気持ちを引き出すことが十分ではないと感じている。本授業では、音域を調べ自分の声の特性を認識させ、楽曲選択に関わらせることで意欲を高め、キー調整を行うことで歌いにくさを解消し、主体的に歌唱活動に取り組んでいけるようすすめていく。

(3) 指導観

　　本題材では、歌詞の内容や曲想に相応しい歌い方を考え表現を工夫し、協力して創り上げる喜びや

楽しさを味わいながら、主体的に歌唱活動に取り組むことをねらいとしている。指導にあたっては、

声のほめ言葉シートを作成し、互いに認め合う雰囲気作りから始め、安心して歌える環境を作ってい

く。音域調べ、楽曲選択や楽曲を仕上げていく過程では、対話的学習を取り入れ、ペア・グループ学習

から全体へと対話の範囲を広げすすめていく。お互いに感じ合ったことを伝え合い、異なる意見に耳を

傾けることで見方・考え方を広げ、協力して創り上げる喜びを味わわせるとともに、自ら取り組み表現

しようという意欲を育みたい。

なお本題材は、沖縄県立総合教育センターにおける研究（テーマ「主体的に表現活動に取り組む生徒の育成」）の検証授業となっている。そのため、研究の柱となる内発的動機づけのみなもと（表１）と本研究の目指す主体的に表現活動に取り組む生徒の姿（表２）を結びつけ、指導計画に示し関連づけることとする。

表１　内発的動機づけのみなもと　　　　　　 表２　主体的に表現活動に取り組む生徒の姿

①歌詞の内容や曲想を理解しようとする生徒

②曲に相応しい歌い方を考え、表現しようとする生徒

③ペアやグループでの活動に自ら取り組もうとする生徒

④自分の考えを伝えたり発言しようとする生徒

A　自立性の欲求

（自分の行動を自分で決める）

B　有能性の欲求

（その行動の結果自分が役にたっている）

C　関係性の欲求

（他者から受け入れられている）

４　評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ア　音楽への関心・意欲・態度 | イ　音楽表現の創意工夫 | ウ　音楽表現の技能 |
| ①学習内容に興味・関心をもち、主体的に取り組もうとしている。  ②ペア・グループ等での協働学習において、お互いの意見を交換し合い協力して取り組んでいる。 | ①曲から感じ取ったことを伝えあい、歌詞の内容や曲想を理解し、楽曲に相応しい歌い方を考え、それらを活かした歌唱表現を工夫し、どのようにして歌うか思いや意図を持っている。 | ①歌詞の内容や曲想を活かした歌唱表現をするための技能を身につけている。 |

５　指導と評価の計画（全二次　６時間）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 学習活動<活動形態> | 指導上の留意点 | 評価規準 | | | 評価方法 | 表  １ | 表２ |
| ア | イ | ウ |
| 一 | １ | ・題材を通した学習活動の見  通しをもつ  <ペア>  ・音域を調べる  <グループ>  ・音域マップの作成 | ・学習活動の流れと目標を提示し見通しをもたせる  ・前もって生徒の実態を踏まえながら教師側でグルー  プを編成する  ・グループ毎にチューナーとキーボードを配布しそれ  を活用して自分の音域を調べさせる  チューナー：発している音程の確認  キーボード：音域等の確認 | ◎ |  |  | 行動観察  ワークシート | C | ③ |
| ２ | <グループ>  ・歌う曲について話合う  <全体>  ・グループ毎に推薦曲とお薦  めポイントを発表する  ・歌う曲を決定する  ・授業を振り返る | ・事前アンケートをもとに話合いを進めるよう促す  ・選曲の視点を次のようにおく  ①心に響く歌詞  ②旋律の美しさ・楽しさ 　③歌いやすさ  ・【選んだ曲のセールスポイント】のタイトルでグルー  プ毎にプレゼンテーションをさせる  ・必要に応じて原曲も流す | ◎ |  |  | 行動観察  ワークシート  プレゼンテーション  自己評価表 | A  B  C | ④  ③ |
| 二  二 | ３ | <全体>  ・音域マップの確認  ・主旋律を歌う  ・歌いやすいキーに調整する  ・変更したキーで歌い合わせ  　る | ・前時の取り組みを振り返り、全体の音域マップで自  分の音域を確認させる  ・教師主導のもと、主旋律を音取りし録音する  ・ある程度歌えるようになった時点でキー調整を行う  ・Aメロ・Bメロ・サビ等、楽曲構成を確認する  ・次時にほめ言葉シートを記入することを伝え、お互い  の歌声を意識しながら歌い合わせるよう伝える | 〇 |  | ◎ | 行動観察 | A | ① |
| ４ | <個→全体>  ・ほめ言葉シートの記入と交  　換  <個→グループ>  ・歌詞の内容や曲に込められ  たメッセージについて付箋  紙に記入し話合う  <全体>  ・各グループで話合ったこと  を発表し、楽曲からのメッ  セージやイメージをまとめ  る  ・歌い合わせる  ・授業を振り返る | ・互いの声の良さを見つけシートを通して伝えあう  ・質問事項に沿って歌詞の内容から感じたことを付箋  紙に書き出し、グループで意見を共有する  Q1 <僕と君>はどんな関係？  Q2 年齢層はどのくらい？  Q3 特に印象に残った部分や共感する部分に線をひ  こう  Q4 この曲から伝わる想いは？  Q5 これまで生きてきた中であなたにとっての<キセ  キ>の出会いはありましたか？ぜひ教えて下さい!!  ・グループから出された意見をまとめる  ・楽曲からのメッセージやイメージを意識しながら歌  い合わせるよう声かけする | 〇 | ◎ |  | 行動観察  ワークシート  自己評価表 | A  B  C  A  B  C | ④  ①  ④  ③  ① |
| ５ | ・前時の確認  <グループ>  ①主旋律 ②副旋律 ③ラップ各パートを練習する  <全体>  ・表現の工夫の確認と練習  ・「聴き役」を決める  ・歌い合わせる  ・「聴き役」によるチェック  ・アドバイスの共有 | ・クラスを３つのグループに分け、全員が３つのパート  を練習する  ・パート練習用に音響機器準備  ・自分でパートを決定させる  ・チェックポイント  ①各パートはバランスよく聞こえるか  ②みんなで話し合った表現の工夫はみられるか  ③みんなの歌声は心に響いてくるか  ・聴きポイントに沿って良かった点やアドバイスを発  表させる | 〇 | ◎ |  | 行動観察 | A  A  B  C | ②  ④ |
| ６ | <全体>  ・部分練習  <全体>  ・歌い合わせ・録音  ・初回演奏録音との聴き比べ  <個→グループ→全体>  ・ワークシート記入  ・意見の共有  ・まとめ | ・部分的に抜き出して練習  ・まとめとしての歌い合わせになることを伝える  ・初回の録音と比較させ、違いや理由をワークシートに  記入させる | ◎ | 〇 |  | 行動観察  ワークシート  まとめシート | A  A  B  C | ②  ④  ③ |

６　本時の学習内容

(1)１・２／６時間

①本時の目標

第１時:自分の音域を調べ声の特徴を知る。

　　　第２時:お互いの意見を交換し合い曲を決定する。

　 ②本時の展開

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学習過程 | 学習目標と学習活動 | 指導上の留意点 | 具体的な評価規準と  評価方法 | 表  １ | 表２ |
| １ | 導入① | **１．活動の見通しを持つ**  学習内容を知る  **２．本時の目標確認** | ・予め編成した5グループに分かれて座る  ・学習の流れと目標を示し、見通しを持たせる  ・ワークシート①を配布する  ・本時の目標を提示する  自分の音域を調べ、声の特徴を知ろう |  |  |  |
| 展開① | **１．音域を調べる**  〈ペア〉  ①ペアになり、チューナーを使用して個々の低い声と高い声を調べ記入する  〈グループ〉  ②個々の調べた低い音と高い音をもとにキーボードで高低や音域を確認しグループマップに書き込んでいく  ③自分の音域に合わせ帯シートを切り、全体マップに張り付ける | ・各グループにチューナーを２台・キーボード１台ずつ配布する  ・チューナーの使い方や音域の調べ方の手順を示す  ・各班用の音域マップを配布  チューナー：発している音程の確認  キーボード：音域・高低等の確認  ・キーボードでの高低・音域調べは、グループで協力して作業するよう声かけする  ・全体マップに貼る帯シートを配布し、使い方を説明する | **題材の評価規準ア①**  ・音域調べに興味・関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。（行動の観察・記述の確認）  **題材の評価規準ア②**  ・ペア・グループ活動においてグループのメンバーと協力して取り組んでいる。（行動の観察） | C | ③ |
| ２ | 導入② | **１．目標と注意事項の確認** | ワークシート②の配布  ・音源使用の際のみ、携帯電話の使用を認めることを伝える  意見を交換し合いみんなで取り組む歌を決めよう |  |  |  |
| 展開② | **１．歌う曲を決める**  〈グループ〉  ①グループ内で話し合い１曲に決める  ②選んだ曲を紹介する準備をする    〈全体〉  ③各グループの発表  ④グループ内で話し合ったことを全体に諮り、歌う曲を決定する | 楽曲を選ぶ際の視点を示す  ①心に響く歌詞であること  ②メロディの美しさや楽しさを感じられる曲であ  ること  ③歌いやすい曲であること  ・事前に記入した選曲アンケートを返し、それをもとに話し合うよう声かけする  ・紙・ペンを配布し、①曲名②歌詞の概要③おすすめポイントを記入させ、音源も流すよう伝える  ・視点に照らし合わせて選ぶよう声かけする  ・それぞれのグループの意見を発表させる  ・意見が割れることも予想されるので、それぞれのグループからの意見発表後、再度話合わせる | **題材の評価規準ア①**  ・楽曲決めに興味・関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。（行動の観察・記述の確認）  **題材の評価規準ア②**  グループ活動や全体の話し合いの場において、自分の思いを伝えたり、他の人の意見を聞く等、協力して取り組んでいる。  （行動の観察） | A  B  C | ④  ③ |
| ま  と  め | **１．本時の学習を振り返る**  振り返りシートを記入する  **２．次回の予告、片付け** | ・本時の学習の成果と課題について確認し、次回の活動の予告をする |  |  |  |

(2) ３・４／６時間

①本時の目標

第３時:クラスの音域に合った調性を探すとともに、楽曲構成を意識しながら歌唱活動に取り組むこ

とができる。

　　　第４時:曲に込められたメッセージを感じ取り、曲に相応しい表現方法を考える。

　 ②本時の展開

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学習過程 | 学習目標と学習活動 | 指導上の留意点 | 具体的な評価規準と  評価方法 | 表  １ | 表２ |
| ３ | 導入① | **１．前回の振り返りと全体マップの確認**  **２．本時の目標確認** | ・予め編成したグループに分かれて座る  ・全体マップで全員の音域を確認する  ・ワークシート③と歌詞を配布する  ・本時の目標を提示する  みんなの音域に合った調性を探し、楽曲構成を意識しながら歌う |  |  |  |
| 展開① | <全体>  **１．旋律を歌う**  ①教師の範唱とともに、１番のみ繰り返し歌う  ②録音する。  ③歌いやすい調性を探す  ④変更した調性で全曲通して歌う | ・原譜（高校生の歌集）の調性（Fdur）で練習する  ・細かいパッセージや言葉の入れ方が難しい部分は繰り返し練習し、旋律を把握させる  ・ある程度歌えるようになった時点で録音する  ・マップ上の男声の音域を女声の高さに合わせて１オクターブ上げ、全員の重なっている部分を再度確認させる  ・全員の重なっている部分が多くなるよう、キーを上げ下げし、歌いやすくなったか確認しながら調性を決定する  　冒頭のメロディを歌い, 歌いやすさを確認  ・歌詞に記しているAメロ・Bメロ等、の説明をし、曲の構成を確認させながらら、全曲通して歌う | **題材の評価規準ア①**  ・学習内容に興味・関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。（行動の観察）  **題材の評価規準ウ①**  ・自分の音域を意識し、歌いやすい調性に合わせ歌うことができる。（行動の観察） | A | ① |
| ４ | 展開② | **１．お互いの声の良さをみつけよう**  ①ほめ言葉シートへの記入  ②シートを相手へ手渡す  ③シートをもらっての感想記入  **２．表現方法を考える**  ①考えを付箋に記入する  <グループ>  ②付箋を台紙に貼りだしながら、それぞれの意見を共有し、どのように歌ったらよいか話し合う  <全体>  ③話し合った内容を発表しまとめ確認する  **３．歌い合わせる**  ①表現の工夫を加え歌う | ・班ごとに着席させる  ・ほめ言葉シートの記入例を示し、パートメンバーの声の良さをシートに書き込ませる  ・ワークシートに貼り付けさせる  Q1　<僕と君>　どんな関係？  Q2　年齢層はどれくらい？  Q3　印象に残った部分や共感する部分に  線をひいて下さい  Q4　この曲から伝わる想いは？  Q5　これまで生きてきた中で、あなたに  とって<キセキ>の出会いはありまし  たか。ぜひ教えて下さい。  <キセキ>の出会いとは、部活動やモノ等も含まれることを伝える  ・曲の構成を意識させ、『Aメロ、Bメロ、サビ等、それぞれどのように歌ったらよいか、どこを強調して歌ったらいいか』具体的に考えさせる  ・各グループから出された考えをまとめ、黒板に書き出し可視化する | **題材の評価規準ア②**  ・協働学習において、自分の考えを伝えたり、相手の意見に耳を傾け、協力しながら取り組むことができる。（行動の観察・記述の確認）  **題材の評価規準イ①**  ・曲に相応しい歌い方を考え、思いや意図をもって表現しようとしている。（行動の観察） | A  B  C  A  B  C | ④  ①  ④  ③  ① |
| ま  と  め | **１．本時の学習を振り返る**  振り返りシートを記入する  **２．次回の予告、片付け** | ・本時の学習の成果と課題について確認し、次回の活動の予告をする |  |  |  |

(3) ５・６／６時間

①本時の目標

第５時:パートを自分で選択し、表現の工夫を加えながら合わせて歌う。

　　　第６時:表現の工夫を行い、楽曲の持つメッセージを意識しながら思いや意図を持って歌う。

　 ②本時の展開

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学習過程 | 学習目標と学習活動 | 指導上の留意点 | 具体的な評価規準と  評価方法 | 表  １ | 表２ |
| ５ | 導  入 | **１．前回の振り返り**  「キセキ」の１番を歌う  **２．本時の目標確認** | ・予め編成したグループに分かれて座る  ・ワークシート④を配布する  ・本時の目標を提示する | 歌いやすいパートを自分で選び、表現の工夫をしながらみんなと合わせて歌う |  |  |
| 展開① | **１．パート練習**  ①主旋律②副旋律③ラップ  ３つのパートを巡って練習する  **２．歌い合わせる**  ①表現の工夫の確認と練習  ②「聴き役」決め  ③歌い合わせ・聴き役によ  るチェック  **３．アドバイスの共有**  ①「聴き役」から感想発表 | ・全体を３つに分け、全員に全てのパートを練  習させる  ・パート練習用に機器の準備  ①主旋律→キー調整後の音源  ②副旋律→ピアノ周辺で教師とともに  ③ラップ→ラップ部分の抜き出し音源  ・自分で自分のパートを選ばせる  ・前回の話合いでの意見をもとに、具体的にど  　のように歌ったらよいか（強弱・抑揚・リズ  　ム感・声の音色・表情等）を問いかけ、部分  的に練習する  ・「聴き役」は客観的に聴く事に徹する役割であ  ることを伝える  ・次のポイントに沿って聴かせ、演奏後に良か  った点とアドバイスを発表させる  ①各パートのバランスはどうか  ②表現の工夫はみられるか  ③みんなの歌声は心に響いてくるか  ・聴き役からのアドバイスをワークシート④に記入させる | **題材の評価規準ア①**  ・進んで練習に取り組み、自分の音域や歌いやすさに合わせてパートを選ぶことができる。（行動の観察）  **題材の評価規準イ①**  ・曲にふさわしい表現  方法を考え、表現し  ようとしている。  （行動の観察）  聴き役の行動 | A  A  B  C | ②  ④ |
| ６ | 展開② | **本時の目標確認**  ②聴き役からのアドバイス  をもとに表現が足りない  部分を練習する  **４．まとめの演奏と分析**  <全体>  ①歌い合わせ  <個人>  ②初回の録音と聴き比べる  ③＊初回の演奏との違い  ＊なぜ演奏に変化がみら  れたのかについて記入す  る  <グループ>  ④互いの意見を共有する  <全体>  ⑤各グループの発表を聞く | ・曲を部分的に抜き出して練習させる  ・口形、姿勢、リズムの取り方にも意識させる  ・まとめとしての歌い合わせになることを伝え録音する  ・聴くポイントに沿って聴かせる  ①声量 ②強弱 ③リズム感 ④思いが伝わるか  ・音源による比較が難しい場合は、自分の中で  　の変化をもとに記入するよう声かけする  ・この分析が一番大切なポイントであることを  　伝え、集中して取り組ませる  ・話合いや発表の仕方を予め提示する  ・グループ活動が成立するよう役割を決めて取  　り組ませ、意見をまとめて発表させる  <司会・記録・発表・（盛り上げ役）> | **題材の評価規準イ①**  ・思いや意図をもって  表現しようとしてい  る。（行動の観察）    **題材の評価規準ア②**  ・協働学習において自  分の考えを伝えたり  相手の意見に耳を傾  け協力しながら取り  組むことができる。（行動の観察・記述の確認） | 「聴き役」からのアドバイスをもとに表現の工夫を行い、気持ちを乗せて<キセキ>を歌い上げる  A  A  B  C | ②  ④  ③ |
| ま  と  め | **１．まとめの歌い合わせ**  **２．学習全体を振り返る** | ・今回の歌唱活動を通しての成果と課題につい  　て振り返させる | まとめシート |  |  |